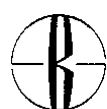


TECHNICAL DATA

種 類	1液弱溶剤形アクリルシリコン樹脂塗料
商 品 名	キクスイロイヤルトップスター

第8版 作成日： 2021年8月27日



菊水化学工業株式会社

標準施工仕様書

- 種類：1液弱溶剤形アクリルシリコン樹脂塗料
- 商品名：キクスイロイヤルトップスター
- 適応下地：(1)コンクリート、モルタル、ALCパネル、スレート板、サイディングボード等
(2)鉄部、亜鉛メッキ、アルミニウムなどの金属
(3)木部等
- 部位：内外部壁面・鉄部
- 工法：

【新築の場合：鉄部、亜鉛メッキ、アルミニウムなどの金属】

工程	材料・調合	塗装方法	塗回数	間隔時間 (23℃)	所要量
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ・塗装面に付着したミルスケール、ほこり、油脂分などは入念に除去し、乾燥した清浄な面としてください。 ・さびや粉化物はサンドペーパーやディスクサンダー等の電動工具を用いて除去してください 				
下塗り	キクスイ ロイヤルプライマーエポ 主材：16kg 塗料用シンナーA : 0.8~1.6L	刷毛 ウールローラー	1	4以上 7日 以内	106~123㎡/16kg 0.13~0.15kg/㎡
上塗り	キクスイ ロイヤルトップスター 主材：15kg 専用シンナー：0.75~3.0L	刷毛 ウールローラー エアレススプレー	2	2以上 7日 以内	44~57㎡/15kg 0.26~0.34kg/㎡

【改修の場合：鉄部】

工 程	材 料・調 合	塗 装 方 法	塗 回 数	間 隔 時 間 (23℃)	所 要 量
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ・旧塗膜に浮き、剥がれなど劣化部や脆弱部がある場合は、サンダーや皮スキなどで除去してください。 ・さびや粉化物はサンドペーパーやディスクサンダー等の電動工具を用いて除去してください 				
下塗り	キクスイ ロイヤルプライマーエポ 主 材：16kg 塗料用シンナーA : 0.8~1.6L	刷毛 ウールローラー	1	4以上 7日 以内	106~123㎡/16kg 0.13~0.15kg/㎡
上塗り	キクスイ ロイヤルトップスター 主 材：15kg 専用シンナー：0.75~3.0L	刷毛 ウールローラー エアレススプレー	2	2以上 7日 以内	44~57㎡/15kg 0.26~0.34kg/㎡

【改修の場合：外壁】

工 程	材 料・調 合	塗 装 方 法	塗 回 数	間 隔 時 間 (23℃)	所 要 量
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ・旧塗膜に浮き、剥がれなど劣化部や脆弱部がある場合は、サンダーや皮スキなどで除去し、必要に応じて模様合わせを行ってください。 ・埃、油脂分など汚れなどはサンドペーパー、ウエス、水洗などで除去し、乾燥した清浄な面としてください。 				
下塗り	キクスイ SPパワーシーラー 主 材：12.5kg 硬化剤：2.5kg 無希釈	刷毛 ウールローラー エアレススプレー	1 ~2	6以上 7日 以内	0.08~0.20kg/㎡/回 75~187㎡/15kgセット (吸込みの多い下地) 0.20~0.34kg/㎡/回 45~75㎡/15kgセット
上塗り	キクスイ ロイヤルトップスター 主 材：15kg 専用シンナー：0.75~3.0L	刷毛 ウールローラー エアレススプレー	2	2以上 7日 以内	44~57㎡/15kg 0.26~0.34kg/㎡

【改修の場合：外壁（弾性フィラー仕様）】

工 程	材 料・調 合	塗 装 方 法	塗 回 数	間 隔 時 間 (23℃)	所 要 量	
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ・旧塗膜に浮き、剥がれなど劣化部や脆弱部がある場合は、サンダーや皮スキなどで除去してください。 ・埃、油脂分など汚れなどはサンドペーパー、ウエス、水洗などで除去し、乾燥した清浄な面としてください。 					
主材塗り	多孔質ローラー塗り	キクスイ ロイヤルフィラー 主 材：15kg 清 水：0.5～0.8L	多孔質ローラー (マスチックローラー)	1	4以上	17～30㎡/15kg 0.5～0.9kg/㎡
	吹付け	キクスイ ロイヤルフィラー 主 材：15kg 清 水：0.5～0.8L	リシンガン 口径：4～6mm 吹圧：0.5～0.6MPa	1	4以上	17～30㎡/15kg 0.5～0.9kg/㎡
上塗り	キクスイ ロイヤルトップスター 主 材：15kg 専用シンナー：0.75～3.0L	刷毛 ウールローラー エアレススプレー	2	2以上 7日 以内	44～57㎡/15kg 0.26～0.34kg/㎡	

【改修の場合：木部】

工 程	材 料・調 合	塗 装 方 法	塗 回 数	間 隔 時 間 (23℃)	所 要 量
素地調整	・旧塗膜に浮き、剥がれなど劣化部や脆弱部がある場合は、サンダーや皮スキなどで除去してください。 ・乾燥した清掃な面としてください。				
下塗り	キクスイ ロイヤルプライマーエポ 主 材：16kg 塗料用シンナーA : 0.8~1.6L	刷毛 ウールローラー	1	4以上 7日 以内	106~123㎡/16kg 0.13~0.15kg/㎡
上塗り	キクスイ ロイヤルトップスター 主 材：15kg 専用シンナー：0.75~3.0L	刷毛 ウールローラー エアレススプレー	2	2以上 7日 以内	44~57㎡/15kg 0.26~0.34kg/㎡

注1 施工用具・条件は代表的なものです。

注2 間隔時間・所要量の値は標準的なものです。施工方法・器具、被塗物の形状、素地の状態、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。

注3 上塗材の希釈はキクスイロイヤルトップスター専用シンナーを使用してください。希釈はハケ・ローラー塗りの場合「5~15%」、スプレー塗りで「5~20%」の範囲で実施して下さい。

注4 所要量の確認は塗見本との比較または単位体積当たりの使用量で確認して下さい。

注5 旧塗膜の種類により溶剤分などの影響で旧塗膜を侵し剥離や膨れなどが発生する場合があります。試し塗りによる確認、旧塗膜の除去、下塗材の使用など必要な処理を行ってください。詳しくは最寄の各営業所へお問い合わせください。

● 荷 姿

下塗材：	キクスイロイヤルプライマーエポ	NET	16kg/缶
：	キクスイSPパワーシーラー	【主 材】	NET 12.5kg/缶
		【硬化剤】	NET 2.5kg/缶
主 材：	キクスイロイヤルフィラー	NET	15kg/缶
上塗材：	キクスイロイヤルトップスター	NET	15kg/缶
	専用シンナー	NET	16L/缶

成分表

●下塗材：キクスイロイヤルプライマーエポ

内 容	重 量 (%)
フェノール変性アルキド樹脂	38.0
着色及び体質顔料	35.0
添加剤	4.5
溶剤	22.5
計	100.0

：キクスイSPパワーシーラー 透明タイプ (主材)

内 容	重 量 (%)
エポキシ樹脂	35.0
添加剤	2.0
溶剤	63.0
計	100.0

：キクスイSPパワーシーラー 白色タイプ (主材)

内 容	重 量 (%)
エポキシ樹脂	35.0
白色及び体質顔料	17.5
添加剤	3.5
溶剤	44.0
計	100.0

：キクスイSPパワーシーラー (硬化剤)

内 容	重 量 (%)
変性脂肪族アミン	21.0
添加剤	3.5
溶剤	75.5
計	100.0

●主 材：キクスイロイヤルフィラー

内 容	重 量 (%)
アクリル樹脂エマルジョン	39.1
白色及び体質顔料	47.9
水	6.0
添加剤	7.0
計	100.0

●上塗材：キクスイロイヤルトップスター

内 容	重 量 (%)
シリコン変性樹脂ワニス	50.0
白色及び体質顔料	32.3
添加剤	3.5
溶剤	14.2
計	100.0

：キクスイロイヤルトップスター 専用シンナー

内 容	重 量 (%)
溶剤	100.0
計	100.0

性能試験成績書

種類	1 液弱溶剤形アクリルシリコン樹脂塗料	
商品名	キクスイロイヤルトップスター	
試験方法	JASS 18 M-404 (2006) に準拠	
項目	規 定	結 果
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。	合 格
塗装作業性	はけ塗り及びローラブラシ塗りに支障があってはならない。	合 格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合 格
乾燥時間 (半硬化乾燥)	8時間以内とする。	合 格
鏡面光沢度 (60度)	70以上	合 格
耐衝撃性	おもりの衝撃で塗膜に割れおよびはがれが生じてはならない	合 格
促進耐候性	照射時間1200時間で、塗膜に、割れ・はがれ・膨れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて大きくなく、白亜化の等級が1以下とする。	合 格
—以下余白		

* 上記数値は代表値であり、製品の数値等を保証するものではありません。あらかじめご了承下さい。

施工にあたっての要点（溶剤編）

●下地

- 【1】 下地がコンクリート、モルタルの場合は素地の乾燥は十分行ない、含水率10%以下、pH 10以下で施工して下さい。
- 【2】 外部の下地で巣穴、段差などがある場合、セメント系下地調整塗材「BR # 1 5」等で処理して下さい。
- 【3】 押出成形セメント板、GRC板などには、下塗材として「キクスイ プライマーE PW」を使用して下さい。
- 【4】 ALCパネル、多孔質下地、粗面、その他下地に問題がある場合にはセメント系下地調整塗材「BR # 1 5」等で下地処理を行なって下さい。
- 【5】 下地のひび割れ、破損、浮きなどはBR工法等で適切な処理をして下さい。
- 【6】 旧塗膜の浮き・剥がれ・チョーキング層等は除去してから施工して下さい。
- 【7】 吸い込みが大きい下地、部分的に下地調整を行なった面が他の面と比べて著しい吸い込み差を生じる下地、並びに下地がケイ酸カルシウム板、スレート板等の場合には適切な下塗材の選択が必要です。
- 【8】 シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染や密着不良を起こすことがあります。詳しくは弊社営業所までお問い合わせ下さい。

●施工

- 【1】 色・模様決定に当たっては、原則として塗見本を作製して、工事監理者の承認を受けて下さい。
- 【2】 塗見本は、必要に応じて工程ごとに手順が分かるものとします。
- 【3】 所定の塗付量に達しない場合や超えてしまう場合には、種々の欠陥を生じる場合があります。所定の塗付量を守って施工して下さい。

●材料

- 【1】 材料は直射日光下での保管は避けて下さい。
- 【2】 開缶後外気と触れることで反応が進み変質する場合がありますので、開缶後は早目に使用して下さい。
- 【3】 火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- 【4】 既調合タイプの材料を希釈したり、他の材料と混合しないで下さい。

●工法

1. 材料の取扱い

- 【1】 製品は使用前に均一に防爆ミキサーで混ぜ合わせて下さい。
- 【2】 希釈に必要な製品は指定の希釈材を使用し適切な量、適切な方法で均一に薄めて下さい。
- 【3】 製品の希釈には所定の専用希釈材を使用してください。
- 【4】 2液形の製品は、主材と硬化剤を指定の比率で調合し、特に小分けでご使用の場合は計量器で正確に計量を行なって下さい。混合後の製品は、可使時間以内に使い切ってください。また、可使時間は温度、希釈によって変わりますので、混合後はなるべく早く使い切ってください。塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを用いて下さい。
- 【5】 水、アルコール系溶剤の混入は避けて下さい。

【6】製品の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS（安全データシート）を参照して下さい。

2. 下塗り

【1】下塗りは、下地の吸い込みとそのばらつきを防ぐため、だれ、塗り残しのないように均一に塗り付けて下さい。コーナー部など入隅、出隅は特に入念に塗付して下さい。

3. 主材塗り

【1】主材塗り見本と同様となるように注意して、施工を行なって下さい。

4. 上塗り

【1】上塗材は、2回塗りを標準とし、色むら、だれ、光沢むらのないよう均一に塗り付けて下さい。

【2】上塗材の希釈率は試験塗りなどにより決定し、それ以降は同一の希釈率で使用して下さい。希釈率は色相及び施工時の気温により変化します。

5. 施工方法

【1】各種標準施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工して下さい。

●施工管理

【1】施工場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上又は結露の発生が考えられる場合は、塗膜の乾燥過程で種々の欠陥を生じることがありますので、原則施工をしないで下さい。

【2】降雨、結露、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を中止して下さい。

【3】直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度を上昇を防止して下さい。

【4】施工しない箇所はあらかじめ養生をし、その他の材料が付着しないようにして下さい。

●その他の注意事項

【1】残材や施工器具等の洗浄廃溶剤などは専門業者に委託するなど適切に処理して下さい。

【2】溶剤系塗料のため、室内での塗装、取扱い時は必ず換気し、火気厳禁にしてください。

【3】磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず塗装面のマスキングを行って下さい。

【4】刷毛、ローラー、スプレー等、施工方法により若干の色相差を生じることがあります。

【5】軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業系サイディング及び発泡ウレタンなどに施工する場合は、蓄熱したり、水の影響や、下地の状態、塗装時の環境など条件により、塗膜の膨れ、はがれなどが生じることがあります。

【6】JIS A 6909 建築用仕上塗材 複層仕上げ塗材は、下塗材・主材・上塗材を同一メーカーの指定された製品を使用しないと、JIS認証品ではありません。

【7】艶調整品は被塗物の形状、膜厚や色目、塗回数、希釈率により、つやが異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時の塗継ぎ箇所ですべりを生じやすい傾向にあります。試し塗りの上、本施工して下さい。

【8】濃色や原色に近い色彩は、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などに触れる可能性のある部位への施工は避けて下さい。

- 【9】 上塗りに黄色、赤色、青色、緑色系など彩度の高い色目を塗装する場合は、隠ぺい性を高めるため、あらかじめ隠ぺいの良い共色を塗装して下さい。
- 【10】 彩度の高い色目は、退色、色むらが早期に生じることがあります。
- 【11】 旧塗膜の種類により、下塗材を選定して下さい。
- 【12】 改修施工で溶剤系を使用する場合、下地を侵し膨れ、縮み（リフティング）などの異常が発生することがありますので、事前に試し塗りで確認して下さい。

*本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照するようにして下さい。